

学園テーマ「東海医療学園のブランド力を高める！」

重点目標

- I. 魅力ある学校づくりの推進
- II. 地域に貢献し、愛される学園を目指す
- III. 学園の運営基盤を強化する

評価 3: 優れている 2: 適切 1: 改善が必要 として委員による評価の平均値を記載

評価項目	成果と課題	学校関係者評価および次年度の取り組み	
1. 教育理念・目的 ・人材育成像	1) 本年度は創立60周年記念イベントや記念誌を通じて、これまでの実績を内外に発信するとともに、学校関係者においては、建学の精神や教育理念等の認識を深める機会を得た。 2) 学校案内、ホームページおよび学生便覧等において、教育理念・人材育成像、さらにはアドミッション、カリキュラム、ディプロマの各ポリシーを明示し、理解に努めた。	3	60年という節目に際し、教職員があらためて建学の精神や教育理念について認識を深めたことは意義深い。初心を忘れず、健康を支える人材という理念に基づき、教育に尽力してほしいと思います。 3つの各ポリシーが明確。今後も入学志望者などが分かり易いように、発信、明示して欲しいと思います。
2. 学校運営	学園テーマ、重点目標達成に向けて基本方針を定めるとともに学校経営計画が立てられ、概ね計画どおり業務執行がなされた。諸規則が整備され、学校運営会議等により意思決定がなされている。また、諸規程の見直し、校務分掌の明確化・業務の効率化に努め、教育活動に関する情報公開が適切になされている。	2.8	学園テーマである「ブランド力を高める」ことや、「魅力ある学校づくり」に努めることは重要な課題です。東海医療学園ならではの魅力を高め、発信するよう努めてください。
3. 教育活動	1) カリキュラム 厚生労働省あはき師養成施設認定規則および同指導ガイドライン、教育課程編成委員会の提言等に基づき、カリキュラムの見直しを行い、新カリキュラムを編成した。 2) 分かりやすい授業への取り組み 教員自身による自己点検評価、学生による授業評価、授業参観、指導者ミーティング等により授業の改善向上に努めた。 アクティブラーニングを各授業で実施し、学生主体で学ぶ環境づくりに努めた。 3) 適切な成績評価 単位認定、進級・卒業認定等の基準を定め、これに基づく適正評価に努めた。試験においては必要度・難易度から十分吟味した	2.8	卒業時アウトカム（学修成果）が明確になっており、その達成に向けたバランスの取れたカリキュラムになっていると思います。 就業先となる業界や団体、また、時代の要請に応じたカリキュラム編成に努めていると思います。 教育力の向上に向けて、授業アンケートや校長などによる授業参観、アクティブラーニングの実施など、教育の質を高めるための取り組みがなされています。更なる改善向上に努めて欲しいと思います。 進級や卒業の判定のための評価について、信頼性の高い評価に今後も心掛けて欲しいと思います。 技能の評価についても明確な基準に基づく評価が求められま

<p>3. 教育活動</p>	<p>問題の作成に努めた。 4) 教職員の資質向上 学内研修会の実施や全日本鍼灸学会、教員研修会、新任教員研修、各種セミナー等に参加し、資質向上に努めた。 5) その他の教育活動 東洋療法学校協会主催の第 39 回学術大会に参加、学生の研究発表および論文作成等の指導に努めた。 球技大会、ゼミ等の実施により、学生間や学生・教員間のコミュニケーションが図られた。また、学園祭では学生によるボランティア施術が行われ、日頃の練習成果を発揮する機会となり、奉仕の精神の発揚、市民との交流を図ることができた。</p>		<p>す。評価の質の向上に努めて欲しいと思います。</p> <p>教職員においても、実際の健康づくりや医療、介護の現場における研修が必要だと思います。業団や医療機関等と連携して、実践的な職業教育の研修に今後も取り組んで欲しいと思います。</p> <p>業界団体としては、無資格者が行う業との違いを明確にすることを教育に取り入れて欲しいと思います。</p>
<p>4. 学修成果</p>	<p>進級率・卒業率の維持向上のため、面談による問題発見・助言に努めた。また、放課後や夏休み期間等を利用した補習授業等に努めた。国家試験合格率は、あん摩マッサージ指圧師 100%、はり師 70.7%、きゅう師 70.7%であった。あま指師は目標の 100%を達成、はり師きゅう師は昨年度の結果より向上した。 (公社) 東洋療法学校協会による実技評価を受け、受験者全員が合格した。 日体協公認アスレティックトレーナー平成 29 年度検定試験に 2 名が合格した。うち、1 名が実地試験を受験し合格した。</p>	<p>2.3</p>	<p>国家試験合格率の全国平均が低下する中、前年度と比べ、向上したことは評価できると思います。今後、さらに向上することを期待いたします。</p> <p>日本スポーツ協会認定アスレティックトレーナーの合格者増加にも期待いたします。</p>
<p>5. 学生支援</p>	<p>1) 進路相談 就職ガイダンスを開催し、企業、治療院等担当者と学生とのコミュニケーションを支援し、就職活動の助言を行った。 2) 健康管理 学校保健安全法に基づき、学生および教職員の健康診断を実施した。インフルエンザ等感染症予防の衛生教育、カウンセリング等に努めた。B 型肝炎予防接種を実施、実習および将来の業務による感染防止に努めた。トレーニングルームを学生に開放し、健康づくりの推進に努めた。</p>	<p>3</p>	<p>進路ガイダンスを学校独自で開催し、10 年継続していることは素晴らしいと思います。今後も、求人先と学生とのコミュニケーションの場として継続して欲しいと思います。</p>

5. 学生支援	<p>3) 生活相談 校友会による給付型奨学金制度を設け、学生生活を支援した。日本学生支援機構奨学金に関する相談、貸与申請手続きなどの支援に努めた。また、諸事情により、期限までに学納金納付が困難な学生には分割納付を認めている。</p> <p>また、スクールカウンセラー（臨床心理士）による相談サービスを行い、生活支援に努めた。</p> <p>4) 卒業教育 付帯教育である卒業臨床専攻コースに7名が進み、研修を修了した。校友会研修会、鍼灸臨床セミナー等を実施し、卒業のキャリアアップを支援した。</p>		<p>高等教育の無償化が検討されて昨今、学費の経済的支援は重要な課題です。学校としてもできる限りの支援をお願いいたします。</p> <p>卒業後のフォローアップは、ブランド力を高める上で重要な事業であると思います。本研修を修了した卒業生が、次の指導者として後輩の指導にあたるようなシステム構築を目指して欲しいと思います。</p>
6. 教育環境	<p>施設・設備の構造・面積等は法令に準拠している。</p> <p>今年度は、本校舎の屋上および外壁の防水工事を行なった。また、玄関ホール等の照明を増設した。</p> <p>大規模地震等を想定した危機管理マニュアル、事業継続計画を策定している。</p> <p>解剖模型等の教材・教具・図書等の充実に努めた。</p> <p>各階に防犯カメラを設置、防犯・安全対策に努めている。</p>	3	<p>学校施設の維持・管理は、今後も計画的に取り組むことが必要であると思います。</p> <p>今後も、学生や教職員の安全を第一に、アメニティにも十分配慮した環境づくりに努めて欲しいと思います。</p>
7. 学生募集および受け入れ	<p>本校学生募集要項に基づき、適正に実施している。</p> <p>本校の情報については、学校ホームページや SNS、新聞等のメディアを利用し発信している。</p> <p>また、オープンキャンパスの開催や業者主催による進学相談会に参加し、高校生や受験希望者と直接コミュニケーションをとることで、適正な情報提供に努めている。</p>	2.3	<p>少子化が進展する中、教育を取り巻く環境は厳しいものと思われませんが、定員充足に努めて欲しいと思います。</p>
8. 財務	<p>健全な財務状況の保持と情報公開に努めている。</p> <p>予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。平成29年度は60周年記念事業、校舎の改修等のための予算計上を行い、支出が収入を上回る状況となった。会計監査は適正に実施されている。</p>	2.8	<p>引き続き、健全な財務状況の保持と情報公開に努めて頂きたいと思います。</p>

<p>9. 法令等の遵守</p>	<p>専修学校設置基準、職業実践専門課程の規程、養成施設認定規則および同指導ガイドライン等の法令を遵守している。 前年度の学校運営について学校関係者評価を実施、その結果を公開した。</p>	<p>2.8</p>	<p>継続して、法令遵守、および、学校関係者評価、職業実践専門課程に関する情報の公開に努めて頂きたいと思います。</p>
<p>10. 社会貢献・地域貢献</p>	<p>施術所の運営を通じて、市民の保健衛生の向上に寄与した。 熱海市一次予防および介護予防事業に協力し、疾病予防・介護予防に貢献した。また、地域の医師と連携し、在宅医療に取り組んだ。卒後研修制度において優秀な人材育成に取り組んでいる。 国民体育大会やマラソン、サッカー、自転車競技などのスポーツイベントにおけるトレーナー活動・ボランティア活動に参加し、貢献することができた。 地域中学生の職場体験を受け入れ、職業講話やトレーナー体験を行い、職業教育機関としての役割を果たすことができた。</p>	<p>3</p>	<p>地域に必要とされる学校として、今後も市民の健康保持・増進にご尽力頂きたいと思います。 小・中・高生の職業教育において、専門教育機関としての役割を今後も期待いたします。 アスレティックトレーナー養成校として、スポーツ選手・愛好者の競技力向上、健康管理に寄与することを期待いたします。</p>

東海医療学園専門学校 学校関係者評価委員会

日時 平成30年5月10日（木）16:00～18:00

場所 東海医療学園専門学校会議室

出席者 学校関係者評価委員会

委員長 矢田 真樹 （校友会副会長・静岡県鍼灸学術研究会会長）

〃 齊藤恭二郎 （公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会会長）

〃 田中 博 （NPO 法人熱海市体育協会事務局長）

〃 澁谷 哲平 （校友会副会長）

*鈴木秀旺委員（熱海市連合町内会長）、中村 聡委員（公益社団法人静岡県鍼灸師会会長）は欠席

教職員 杉山 誠一 （校長）

〃 城 茂高 （事務長）

〃 臼井 明宏 （教務課長）

〃 太田 一郎 （臨床センター長）

〃 金川小百合 （AT コース長）